

市内飲食店における新型コロナウイルス感染症クラスター事案について
(第2報)

市内飲食店における新型コロナウイルス感染症クラスター事案(令和2年12月13日発表分)において、さらに客22人のPCR検査を実施し、うち2人が陽性であり感染者は合計11人となりました。また、調査の過程で感染経路が2つあることが推定されました。

1 感染者の概要

経路		感染者属性			発症日	報道発表日	管轄保健所
A	B						
○		1	30代 男性	客	12月6日	12月9日(感染者1386例目)	奈良市
○		2	30代 男性	客	12月5日	12月11日(感染者1430例目)	奈良市
	○	3	20代 男性	アルバイト	12月5日	12月11日(京都府3088例目)	山城南
○	○	4	20代 女性	アルバイト	12月7日	12月12日(感染者1455例目)	奈良市
○		5	40代 男性	客	12月8日	12月12日(感染者1460例目)	奈良市
○		6	10代 女性	アルバイト	12月7日	12月13日(感染者1491例目)	奈良市
	○	7	10代 男性	アルバイト	12月7日	12月13日(感染者1493例目)	奈良市
○		8	20代 女性	アルバイト	12月9日	12月13日(感染者1490例目)	奈良市
	○	9	20代 女性	アルバイト	無症状	12月13日(感染者1492例目)	奈良市
	○	10	40代 男性	客	12月10日	12月16日(感染者1547例目)	奈良市
	○	11	20代 男性	客	12月12日	12月16日(感染者1545例目)	郡山

2 PCR検査の状況

(12月18日現在)

区分	検査対象数	結果判明数		未判明数
		陽性	陰性	
従業員	16	6	10	0
客	26	5	20	1
合計	42	11	30	1

3 感染経路の推定

感染経路 A. コロナ陽性者が客として来店し従業員に感染させた経路と、これとは別に B. コロナ陽性の従業員が他の従業員や客に2次感染させた経路の2つが推定されました。

2つの場合とも、従業員がマスクではなくマウスシールドを着用して接客し、客はマスクを着用せずに飲食をしていたことが、感染が広がった要因の一つと考えられます。

4 奈良市の対応状況

感染の恐れのある従業員と、感染の可能性のある日時に来店したほとんど全ての客を対象として、PCR検査を実施しました。

濃厚接触者は、2週間外出自粛要請と健康観察を実施中です。